

持続可能な食料システムに向けて —趣旨説明—

東京大学大学院農学生命科学研究科

中嶋 康博

国連食料システムサミット2021



- プレサミット 2021年7月26～28日
- メインサミット 2021年9月23～24日
- 国連事務総長の議長サマリー・行動宣言
 - 包摂的で変革的な食料システムは、飢餓の撲滅を達成するための進歩を育む
 - 人々、地球、繁栄のための解決策に焦点を当てた、「人々のサミット」
 - 食料システムの変革
 - 人々の栄養、健康、幸福に貢献し、自然の回復及び保護に貢献し、気候に中立で、地域状況に適応し、人間らしい仕事と包摂的な経済力を提供する形態の、人口増加に対応可能な食料供給に焦点が当てられている
 - 2030年のSDGs達成に向けた、食料システム変革のためのさらなる前進
 - 全ての人々への栄養の供給
 - ネイチャーベースの解決策の推進
 - 公平な生計、ディーセントワーク及び力のあるコミュニティの推進
 - 脆弱性、ショック、ストレスに対する強靱性の構築
 - 実施手段の支援

<https://www.un.org/en/food-systems-summit/>

1. 農産物・畜産物生産システム

- 穀物の飼料利用
- 環境負荷

2. 加工・流通システム※

- 食品安全
- 食品廃棄

※フードシステム

3. 貿易システム

食糧サミットとミレニアム・サミット

- 1996年世界食糧サミット(ローマ)

(World Food Summit: **WFS**)

※世界的な穀物価格が急騰した2008年に臨時の食糧サミット開催

- 2000年国連ミレニアム・サミット(ニューヨーク)

ミレニアム開発目標

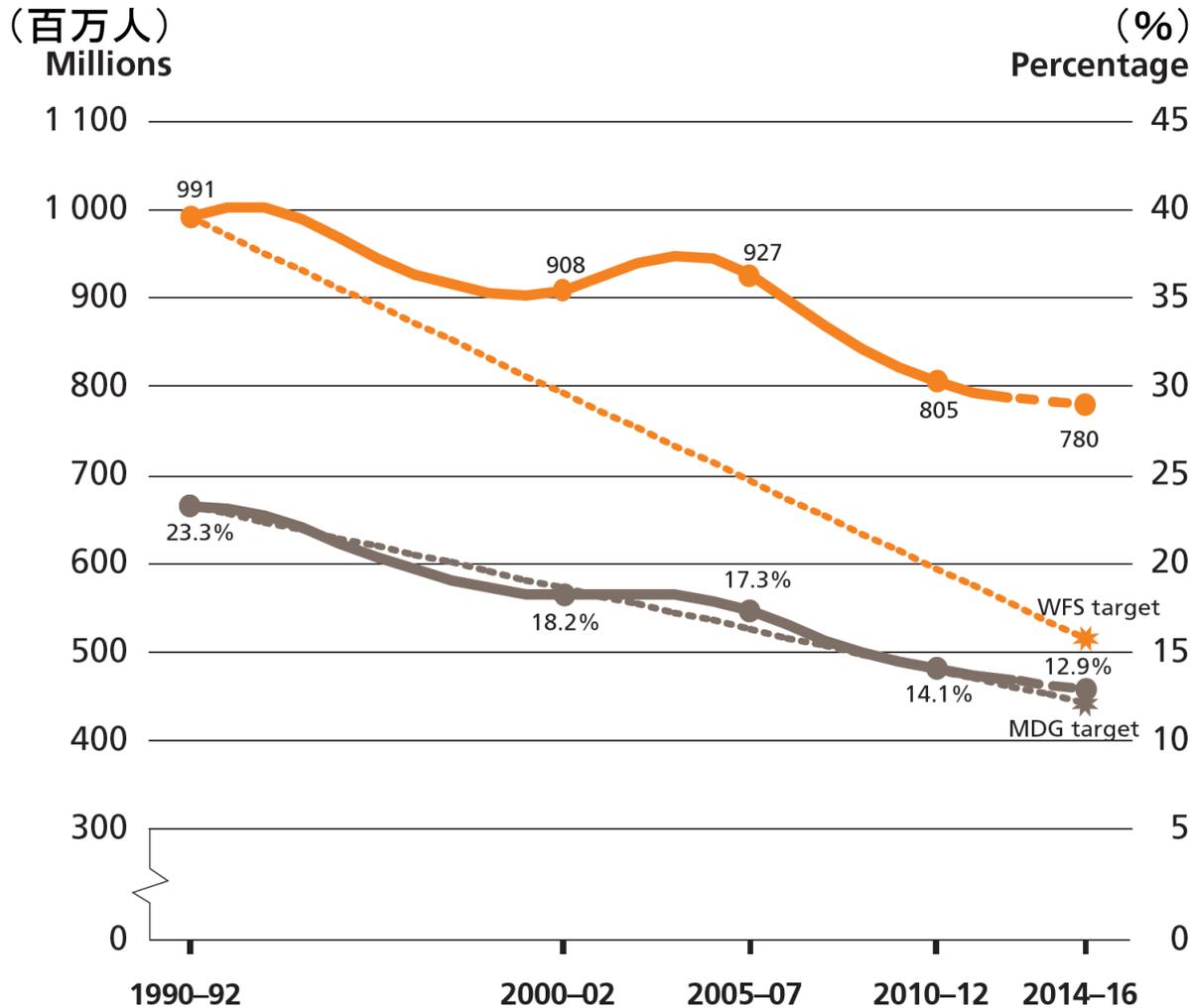
(Millennium Development Goal: **MDG**)

目標1 極度の貧困と飢餓の撲滅

- ✓ 1990年と比較して1日の収入が1米ドル未満※の人口比率を2015年までに半減させる。
- ✓ 1990年と比較して飢餓に苦しむ人口の割合を2015年までに半減させる。

※現在の国際的な貧困基準(extreme poverty line)は1日当たり1.25ドル(2005年購買力平価レート)、1.90ドル(2011年購買力平価レート)

SDGs策定の背景



ミレニアム開発目標は
ほぼ達成(MDG)



持続可能な開発目標
(SDGs)へ

- Number of people undernourished (left axis) 栄養不足人口(人数)
- Prevalence of undernourishment (right axis) 栄養不足人口(比率)

出典: FAO *The State of Food Insecurity in the World 2015*

SDGs (持続可能な開発目標)

- 2015年9月25日～27日、国連において、150を超える加盟国首脳の参加のもと、「我々の世界を変革する: 持続可能な開発のための2030アジェンダ」を採択
- アジェンダでは、人間、地球及び繁栄のための行動計画として、17の目標と169のターゲットからなる「持続可能な開発目標 (SDGs)」を制定



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



目標2：飢餓に終止符を打ち、食料の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する



- 農林水産業は適切に管理すれば、すべての人に栄養価の高い食料を提供し、適正な収入を生み出す一方で、人間中心型の農村開発を支え、環境を守ることもできます。
- 現在は土壌や淡水、海洋、生物多様性の劣化が急速に進んでいます。気候変動は私たちが依存する資源にさらに大きな圧力をかけ、干ばつや洪水など災害に関連するリスクも高めています。農村部には男女を問わず、自分たちの土地で生計を立てられなくなり、機会を求めて都市への移住を余儀なくされる人々が多くいます。
- 現時点で空腹を抱えている7億9,500万あまりの人々と、2050年までに増加が予測される20億人に食料を供給するためには、世界の食料・農業システムを根本的に変革することが必要です。
- 食料・農業部門は開発課題の解決に鍵を握るだけでなく、飢餓と貧困の根絶にも中心的な役割を果たします。

目標2 ターゲット

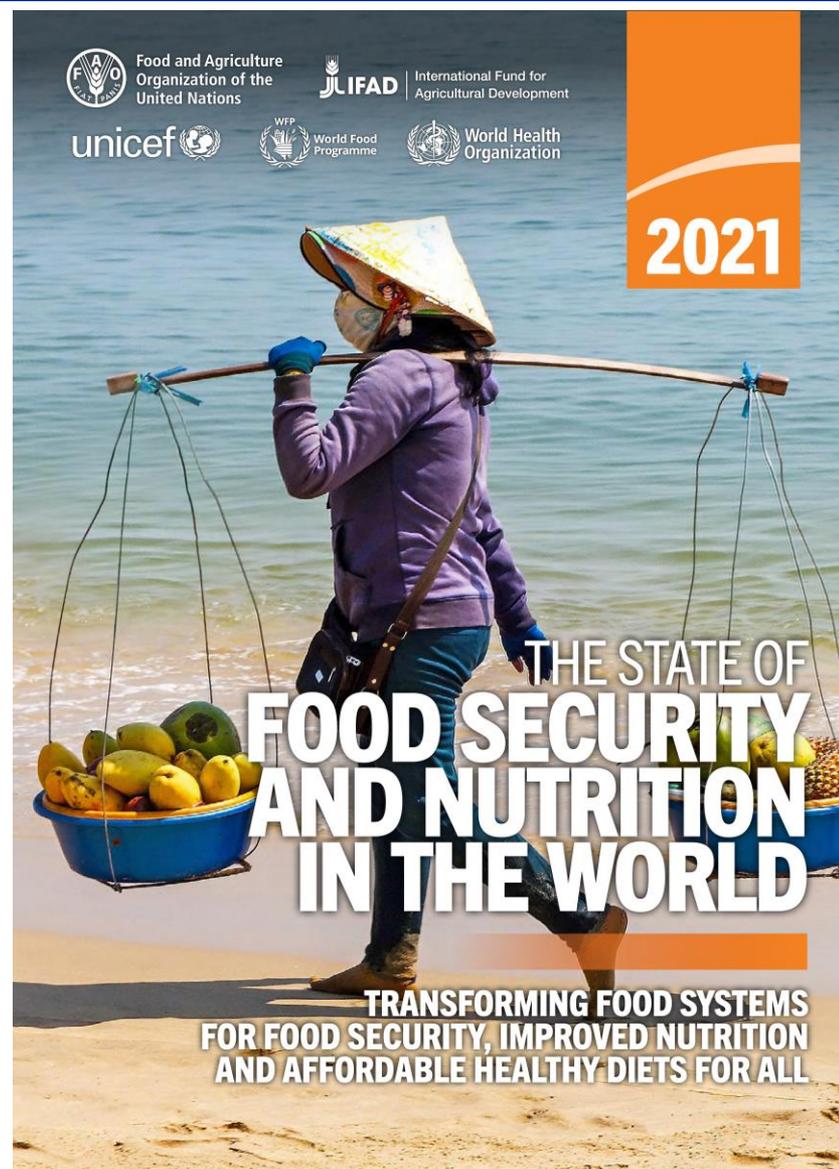
2.1	2030年までに、飢餓を撲滅し、すべての人々、特に貧困層及び幼児を含む脆弱な立場にある人々が一年中安全かつ栄養のある食料を十分得られるようにする。
2.2	5歳未満の子どもの発育阻害や消耗性疾患について国際的に合意されたターゲットを2025年までに達成するなど、2030年までにあらゆる形態の栄養不良を解消し、若年女子、妊婦・授乳婦及び高齢者の栄養ニーズへの対処を行う。
2.3	2030年までに、土地、その他の生産資源や、投入財、知識、金融サービス、市場及び高付加価値化や非農業雇用の機会への確実かつ平等なアクセスの確保などを通じて、女性、先住民、家族農家、牧畜民及び漁業者をはじめとする小規模食料生産者の農業生産性及び所得を倍増させる。
2.4	2030年までに、生産性を向上させ、生産量を増やし、生態系を維持し、気候変動や極端な気象現象、干ばつ、洪水及びその他の災害に対する適応能力を向上させ、漸進的に土地と土壌の質を改善させるような、持続可能な食料生産システムを確保し、強靱(レジリエント)な農業を実践する。
2.5	2020年までに、国、地域及び国際レベルで適正に管理及び多様化された種子・植物バンクなども通じて、種子、栽培植物、飼育・家畜化された動物及びこれらの近縁野生種の遺伝的多様性を維持し、国際的合意に基づき、遺伝資源及びこれに関連する伝統的な知識へのアクセス及びその利用から生じる利益の公正かつ衡平な配分を促進する。
2.a	開発途上国、特に後発開発途上国における農業生産能力向上のために、国際協力の強化などを通じて、農村インフラ、農業研究・普及サービス、技術開発及び植物・家畜のジーン・バンクへの投資の拡大を図る。
2.b	ドーハ開発ラウンドの決議に従い、すべての形態の農産物輸出補助金及び同等の効果を持つすべての輸出措置の並行的撤廃などを通じて、世界の農産物市場における貿易制限や歪みを是正及び防止する。
2.c	食料価格の極端な変動に歯止めをかけるため、食料市場及びデリバティブ市場の適正な機能を確保するための措置を講じ、食料備蓄などの市場情報への適時のアクセスを容易にする。

The State of Food Security and Nutrition in the World 2021

Transforming Food Systems for Food Security, Improved Nutrition and Affordable Healthy Diets for All

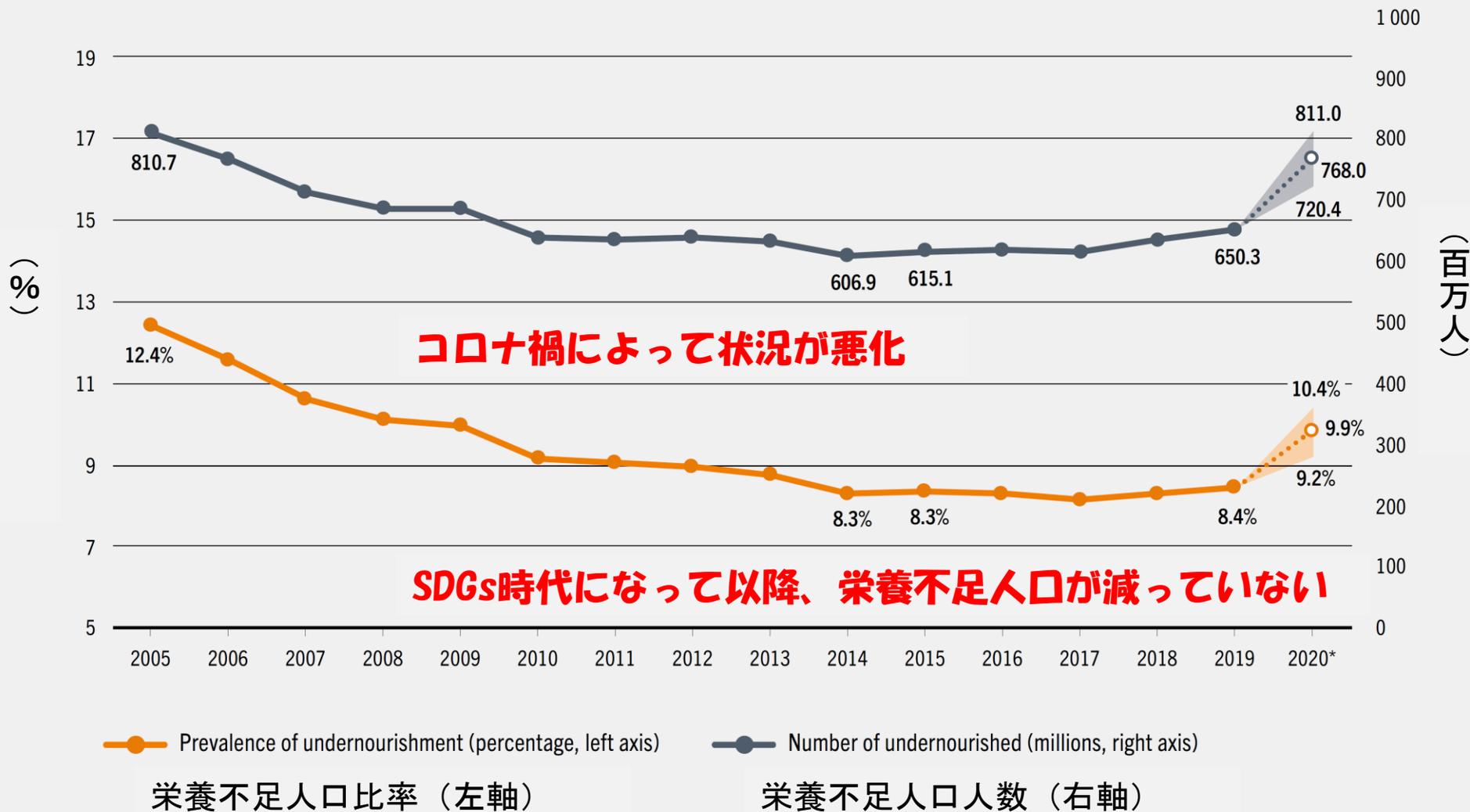
== 目次 ==

- Food Security and Nutrition around the world
- Major Drivers of Recent Food Security and Nutrition Trends
- What Needs to be done to Transform Food Systems for Food Security, Improved Nutrition and Affordable Healthy Diets?



※2015年まで「The State of Food Insecurity (SOFI)」という年次報告。2016年は発刊されず、2017年から本タイトルに変更。今でも略称はSOFI Report

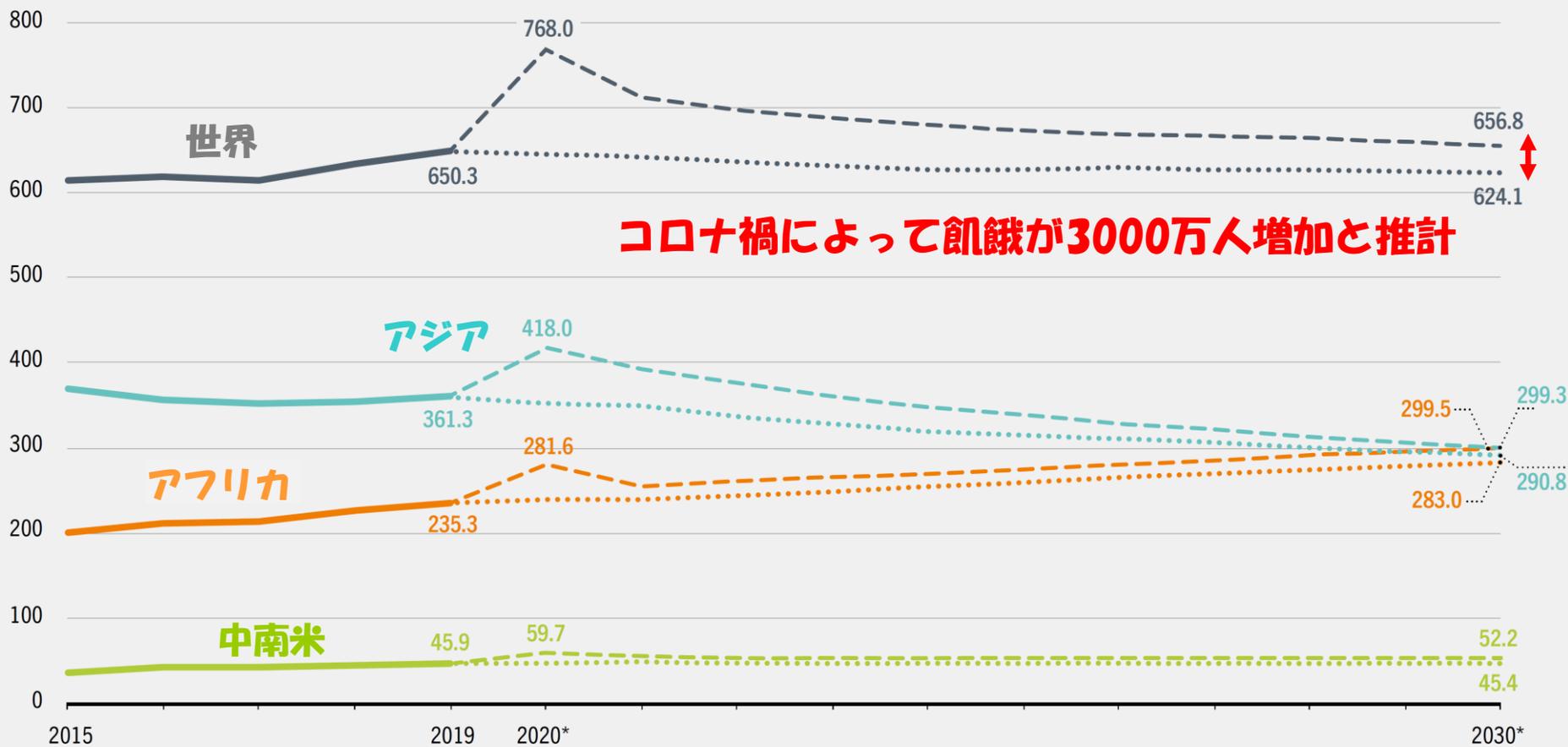
FAO SOFI : 途上国における栄養不足人口の動向



NOTES: * Projected values for 2020 in the figure are illustrated by dotted lines. Shaded areas show lower and upper bounds of the estimated range.
SOURCE: FAO.

栄養不足状況の予測（2030年に向けて）

栄養不足人口（百万人）



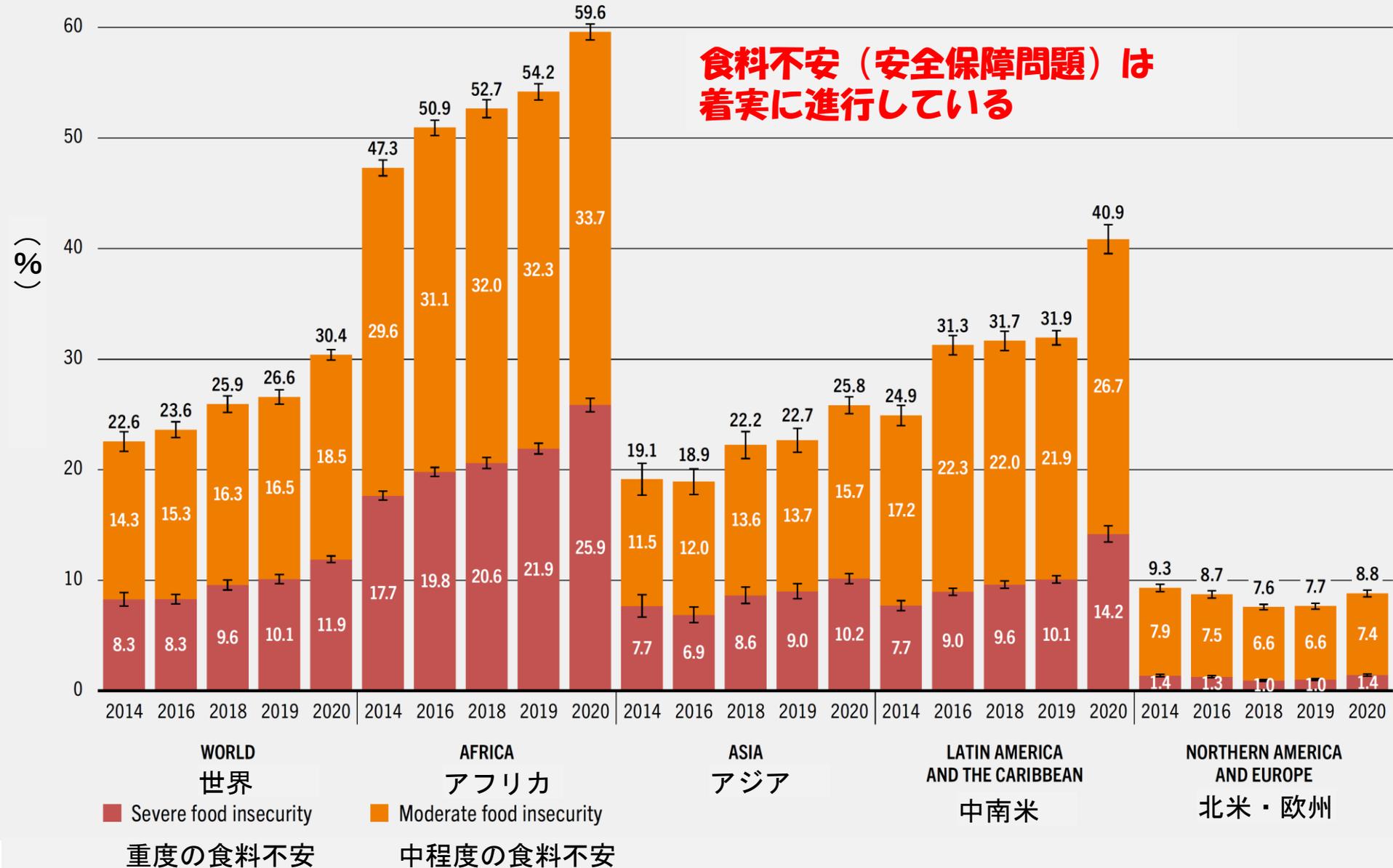
— World — Africa — Asia — Latin America and the Caribbean
- - - Projections for the COVID-19 scenario ... Projections for the no-COVID-19 scenario

コロナありせば予測

コロナなかりせば予測

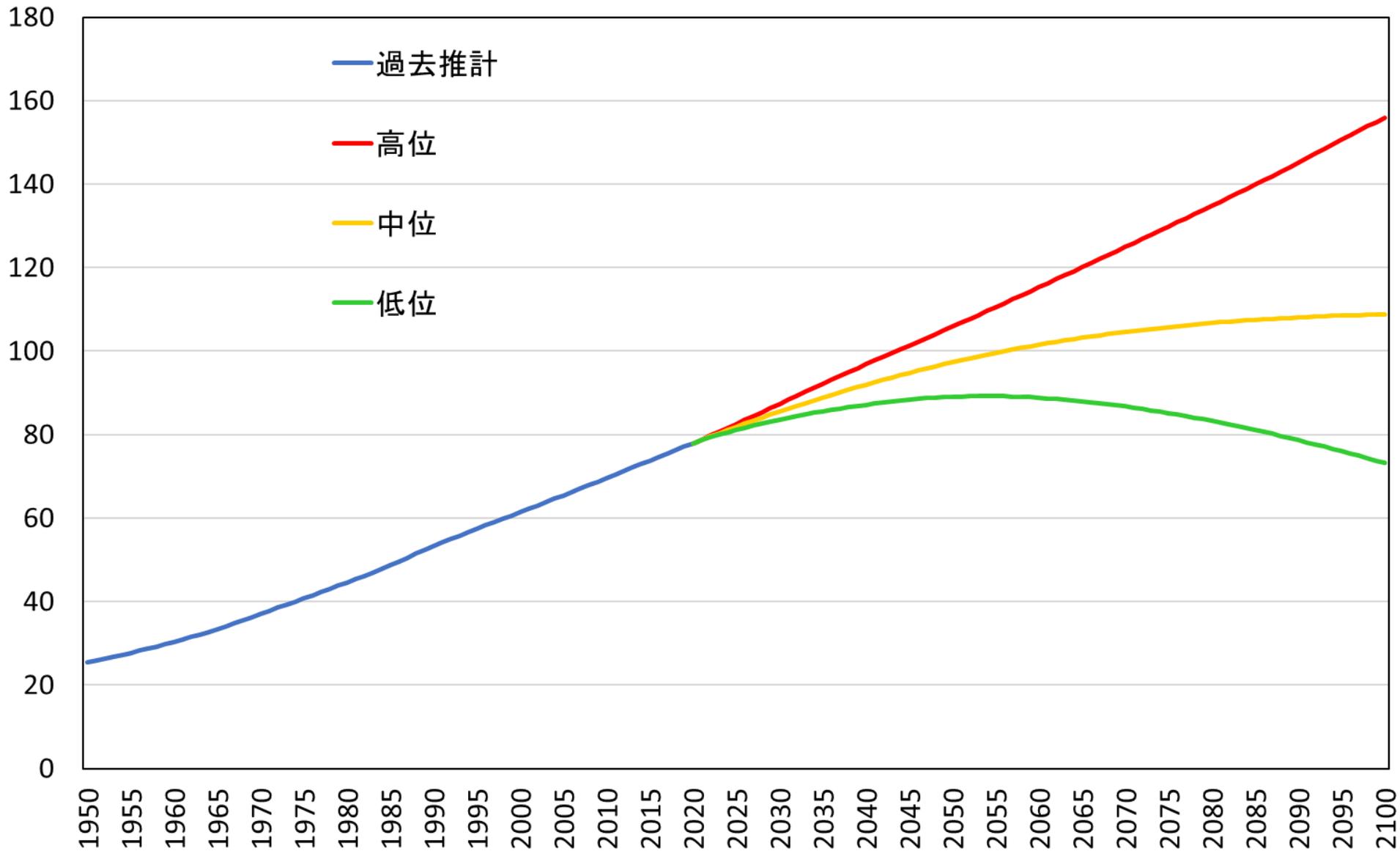
食料不安の経験尺度 (FIES)

食料不安 (安全保障問題) は
着実に進行している



世界の人口（国連推計）

（億人）



資料: World Population Prospects 2019

地域別にみた人口の推移と予測（中位推計）

	1950年 人口 (百万 人) 推計	2020年 人口 (百万 人) 推計	2100年 人口 (百万 人) 予測	人口 成長率 1950～ 2020年	人口 成長率 1950～ 1970年	人口 成長率 1970～ 1990年	人口 成長率 1990～ 2020年	人口 ピーク年 予測
アジア	1,405	4,641	4,720	1.71	2.11	2.05	1.21	2055
ヨーロッパ	549	748	630	0.44	0.89	0.46	0.12	2021
アフリカ	228	1,341	4,256	2.53	2.34	2.75	2.52	2100
北米	173	369	491	1.08	1.46	0.96	0.92	2100
中南米	169	654	680	1.93	2.65	2.17	1.30	2058
オセアニア	13	43	75	1.70	2.14	1.58	1.49	2100
世界計	2,536	7,795	10,875	1.60	1.89	1.82	1.27	2100

資料: World Population Prospects 2019(中位推計)

- 持続可能な食料システムによって、
食料問題と環境問題のジレンマを
どのように解決するか
- 多角的に課題と展望を検討
 - 自然科学から社会科学な視点
 - ローカルからグローバルな視点
 - 研究者から実務家・政策担当者の視点